

あきた PTA



立ち上がれ！オヤジたち！

秋田県PTA連合会会長 加藤 寿一



PTAは、保護者と学校の共同体です。保護者の中には勿論、母親だけではなく父親も含まれるわけです。しかし各学校のPTA活動の実態はどうでしょうか？

専門部も学級の活動もその中心はお母さんたち。お父さんたちは運動会や学習発表会、文化祭など大きな行事には顔を出すものの、前面に出てPTA活動をしてくださるお父さんは、なかなかいらっしゃらないようです。あなたの学校はいかがですか？

「お父さんたちのパワーを何とか生かせないものか。オヤジたちを子どもたちとの活動の主役にしよう！」という思いで県PTA連合会では県教委の委託事業として今年度、『父親の参画による地域教育力活性化事業』を実施しています。通称『おやじ倶楽部』

といいます。おかげさまでこの事業は、予想を上回る反響があり、夏のキャンプ、秋のなべっこ、冬のスキー教室など、オヤジたちが知恵を出し合い、汗をかき、時には失敗しながらも真剣にがんばるオヤジと、子どもたちといっしょの活動をバックアップしました。オヤジたちのすばらしい

アイディアとちよっとの

労力で、子どもたち

には普段はなかなか

が見せること

できない

(っ) カッ

コいいオヤ

ジに変身するこ

とができたのです。

子どもは親の背中を見て育つといいます。「子どもたちには、俺の生き方をじっと見ていてほしい」。父親というものは少なからずそんな考えを持っているものです。しかし、世のお父さんたち、毎日忙しい忙しいと言ってお子さんといっしょの時間を作れないでいませんか？子育てに積極的に協力していますか？休みの日は、お子さんと話をしていますか？「そんなこと言われなくてもやっているよ」という方も、もう一度お子さんとの時間の過ごし方を検証してみてください。意外とお子さんのことを知らないでいたということがあるものです。お父さんたちには、ぜひともお子さんとの時間を今まで以上に大切にしたいと思っています。なぜなら今現在のお子さんのその一瞬は、一生に一度しかないのですから…。(自戒を込めて) さあ、立ち上がれ！オヤジたち！



愛ある子育て、夢ある子育て

【発行】秋田県PTA連合会 【事務局】秋田市山王中島町1番1号秋田県生涯学習センター内

TEL (018) 864-8975 FAX (018) 824-7935 E-mail:pta-akita@helen.ocn.ne.jp http://www.pta-akita.com

教育懇談会

より良い教育環境づくりを目指して、本年も県教育委員会との『教育懇談会』を平成23年1月21日(金)に開催しました。

県教委からは、根岸教育長、佐々木参事、橋田義務教育課長、義務教育課、高校教育課、保健体育課、生涯学習課の各担当課員、本会からは会長を始めとした役員が出席し、活発な意見交換が行われました。以下、その概要について報告します。

① いじめ、暴力行為の実態と対策について

近年、小・中学校における暴力行為等の件数は減少傾向にあり、これまでの指導の成果であろうと思えます。確かに統計上の数字は減少しておりますが、再びいじめ等による小・中学校の自殺が報じられるようになりました。本県では大きな事件として報道されているものはないと思いますが、いじめ、暴力行為等の実態と今後の対策について教えていただきたい。

(県教委)

平成21年度の認知件数は小学校で微増していますが、きめ細やかな実態把握に努めた結果と考えられます。中学校の認知件数は減少しています。

暴力行為については、小・中学校ともに減少しています。

今後の対応については、各校における日常の観察を強化したり、アンケート調査や面談等を計画的に行うなど実態把握に努め、好ましい人間関係づくり等に学校全体で取り組むなど指導を強化したいと考えています。また、携帯電話などによる誹謗中傷の書き込み等のネットいじめや、学校が把握しにくいケースもあることから、各校の危機意識を一層高め、実態把握

握の方法を工夫し、情報モラル教育の一層の充実を図りたい。

児童生徒が「自尊心」や「自己有用感」を実感できる学級経営や授業が展開されるよう、これまで同様、各市町村教育委員会や各小・中学校に対して重点的に指導したい。

暴力行為については、暴力行為への対応に関するリーフレット(県教育委員会作成)の活用を促し、暴力行為の未然防止や即時対応の充実を図りたい。暴力行為の発生が見られる学校に対しては、教員の加配や訪問指導等により校内の指導体制を強化し、未然防止、即時対応に努めたいと考えております。

② 教員の採用計画等について

県内教員の構成は20代が極端に少ないが、小・中学校の統廃合、少人数学級の導入等諸状況への対応と年齢構成の適正化が図られる採用計画があるかを伺いたい。

(県教委)

小・中学校の統廃合については、関係市町村での議会で決定されるため、今後の統廃合予定は未定であるが、計画はこしはばくは統廃合が行われるものとみています。少人数学級導入については、文部科学省では来年度から小1の35人学級スタートに向けて予算計上していますが、国の動向を踏まえながら少人数学習推進事業のあり方について検討中です。

教員の年齢構成の適正化については、少子化と学校統廃合等の影響から大幅な新規採用はできない状況にあります。しかし、県としても少しでも年齢構成バランスの是正を図るため、採用枠拡大につながる早期退職優遇制度を教員に限り2年間進めることとしています。

③ 子宮頸がんワクチンの接種について

性交渉の低年齢化により12歳からワクチンの接種が実施されておりますが、県では性についての取り組みをどのようにしていますか。女子に対するワクチンの接種は

けでなく、なぜ受けなければならぬのか、受ける受けないをどうするのか、男女の生徒に考えさせる必要があると思います。保護者にも同様のことが言えると思いますが、県の対応をお願いします。

(県教委)

学校においては教科、特別活動において計画的に発達段階に応じて性に関する指導をしております。さらに、これまで県の事業の中で産婦人科医師等による性教育講座や助産師による心と体の健康教室を実施してきております。内容につきましましては、自他の生命尊重を含めた広い意味での性に関する指導をいただいております。

予防接種につきましては、子宮頸がんの予防ワクチンと子どもの細菌性髄膜炎を予防するヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの3つのワクチンの公費の助成が決定いたしましたので、県の健康推進課の方でもワクチンの接種につきまして現在パンフレット等を作成しているところです。案の段階で受けられども、接種対象の人は接種回数、副反応等につきましまして含んだ内容のパンフレットを作成中という報告を受けております。

④ 父親の参画による地域教育力活性化事業の成果と継続について

本年度、県からの委託を受けて父親参画事業を実施しておりますが、企画者側から見た事業の成果をお伺いしたい。また、この事業の継続を強く要望しておりますが、その見通しはあるのか教えていただきたい。

(県教委)

父親の参画による地域教育力活性化事業の目的は、お父さんたちの知恵と経験を活かして、親子で一緒に活動することで親子のコミュニケーションを促進させようというねらい、そして地域での活性化にもつながり、さらに地域だけでなく、全県的なつながりをもつて、みんなでネットワークを作ることで地域に根ざした長く続く活動にしたいという願いをもって始めたものであります。企画側からの成果として3点ほど成果があったと思います。

まず一つ目は、皆さんの創意工夫というところで、非常にバラエティ豊かな活動を全県規模で実施していただきました。自然体験、スポーツ、レクリエーション、料理、奉仕活動に取り組んでみるなど、本当にバラエティ豊かな活動ができて、また、地域の特徴を活かしている活動も多いと感じました。二つ目の成果は、親子のコミュニケーション機会が大変促進されたと感じています。大人や子どもたちから「本当にやってよかった」「おもしろかった」という声も沢山のり上げをして良いきっかけづくりというところで、役に立つことができましたと感じました。

三つ目の成果として、この事業の狙いであるネットワーク化です。1月15日(土)に全県交流会が行われ、全県から60グループが参加して、良い交流ができました。活動を長く続けるために、横のつながりが必ず大切になってくると思います。

来年度以降のことですが、もう一年できるようにと予算要求をしているところですが、ぜひ来年度も一年実施できるようにしたいと思います。

(佐々木参事)

父親の参画による地域教育力活性化事業ですが、父親の参画という言葉だけというわけではありません。

来年度度力を入れたのは、母親はもちろん、おじいちゃん、おばあちゃん、お兄ちゃん、お姉ちゃんといった若い人も巻き込んで活動していただけたら大変ありがたいと思っています。地域全体で何かをしようというきっかけを作っていただければと思っています。

(高校教育課ものづくり教育班より)

昨年3月、中学生を対象に発行された「秋田ものづくりへの道」の紹介がありました。県内企業や「ものづくり教育機関(工業高校、大学等)」を中学生に示し、「ものづくり」を進路の一つとして考えてもらうための資料として興味深いものがあります。これは県のホームページ「美の国あきたネットワーク」にも掲載されていますので、ご家庭の皆様でご覧ください。

(根岸教育長)

タイガーマスクからのプレゼントが、まだまだ温かな気持ちや人と人とのつながりを大切にする気持ち、脈々と息づいていることを実感し、明るさを感じることができました。「絆や思いやり」といったことが、真に大切なものであり、守るべきものであることを改めて考える機会になりました。

PTAは子どもを健やかに育てるといふ共通の認識のもと、多くの仲間たちと知り合い、共に行動し、絆を深め合う場であると思います。

学校を中心とした地域の絆が本県児童生徒の優れた資質と安全で安心な環境を支えており、その原動力になっているのがPTAの皆さんと考えております。





メモリアルページ

今年度をもって PTA 活動の区切り(閉校)となる学校があります。
PTA会長のコメントとともに校舎・校章を記録として残したいと思います。

①創立年月日 ②児童・生徒数



鹿角市立十和田小学校 山根分校



①明治16年6月
②16名

山根という地域に根ざしてきたこの学校もついに閉校となり本校と統合になります。この学校で学んだ人にとっては思い出がいつばい詰まった学校です。長い間、本当にお疲れさまでした。



小坂町立十和田小・中学校



①昭和31年4月1日
②小学生1名/中学生3名

秋田杉の巨木をふんだんに使った温もりのある校舎でした。「たゆとう湖の水清くつらなるみねの白雪と千古かわらぬその姿」いつの日か面影も無くなれど、周りの景色と我々の思い出はかわらぬことでしょう。



由利本荘市立八塩小学校



①昭和57年4月1日
②61名

玉米小・住吉小との統合で生まれた本校も、二十九年の歴史を閉じることとなります。地域に愛され支えられてきた日々は、伝統行事「八塩七夕」の願いと共に、永遠に生き続けることでしょう。



秋田市立上新城中学校



①昭和22年4月1日
②14名

緑豊かな環境で、生徒たちは先生方や保護者、地域の皆さんに見守られ、「心清らかに誇り高らかに」という校歌のとおり過ごすごとができました。閉校後も変わらず地域全体で子供たちを見守り続けます。



湯沢市立湯沢東小学校



①明治7年4月24日
②334名

親子二代に渡ってお世話になった赤土山の湯沢東小学校校舎とも統合によりお別れすることになりました。校舎から一望できた湯沢市内や鳥海山の四季折々の絶景は一生心に残ることでしょう。



由利本荘市立高瀬小学校



①昭和59年4月1日
②95名

高瀬小学校は閉校を迎える事になり、慣れ親しんだ校歌も校章もなくとなりますが、地域の学校としてはぐくまれた二十七年間の思い出は、いつまでも心の中に在り続けます。惜別をこめて、ありがとうございます。



湯沢市立岩崎小学校



①明治7年6月30日
②80名

私達の母校岩崎小学校が、百三十六年の歴史に幕を下ろす事となりました。全校八十名の生徒達ですが、岩崎小の思い出を胸に自信と誇りを持って進んで行つて欲しいと願っております。今まで支えて頂いた多くの方々に心から感謝いたします。



湯沢市立湯沢北小学校



①昭和53年4月1日
②200名

田んぼの真ん中、地域を見渡す様に佇む校舎。地域に溶け込み富士見つ子の子供達を見守り育てた学び舎は、三十三年間の歴史に幕を下ろします。先生保護者の方々、地域の皆様に深く感謝申し上げます。



湯沢市立中山小学校



①明治43年7月9日
②34名

創立以来百年の歴史に幕を下ろすこととなりました。PTAの伝統行事である「七草出荷」を通して育まれた親子、地域の皆さん、先生方との絆を忘れず新天地ががんばつてくれること信じています。



湯沢市立高松小学校



①明治16年6月1日
②38名

自然豊かな中での学習、少人数でもできることを証明した部活動。百二十七年の歴史に幕を降ろす訳ですが、この学校を一生忘れることなく、子供達が新しい環境でも活躍することを心より願います。

郡市

PTA
だより

●環境教育と食育

かづの

かづのPTA連合会では数年前より母親委員会を中心に「環境と食育」をテーマに活動しています。今年度は8月5日に身近な食材を使って子どもの喜ぶキャラクターのお弁当《キャラ弁》作りを研修し、9月7日には中滝ふるさと学舎で石窯を使ってのピザ作り、1月15日には「地産地消フェスタ」に参加し親子で淡雪こまちのおにぎりをおいしくいただきました。また、今年度行われました秋田県PTA研究大会へ参加された方々へのお土産として『EM石けん』を作成し、今まで取り組んできた環境教育の和をかつのから県全体へ発信するよい機会となりました。



●感謝の声多数！ 充実した研修会

今年度は、北秋田PTA連絡協議会と共催してPTA功労者表彰と講演会を実施しました。講師は、前秋田商高硬式野球部監督の小野平氏。「子どもに夢と希望を」甲子園を目指した日々に向けたこと「〜という演題で、三十五年間の監督生活から、夢や希望を実現するために、地域や指導者、親の役割等について講演いただきました。三百名を超える参加者からは、「表彰者のご功労を知り、改めてPTA活動の大切さを知ることができた。講演者として、人間として考えさせられることが多く、大変有り難かった。」との感想が多数寄せられました。

大館北秋



能代山本

十一月「リング」の原作者鈴木光司氏を招き、子育て論を楽しく講演していただいた。そばにいる娘の面倒を見ながら「リング」を執筆していたというエピソードも紹介されました。

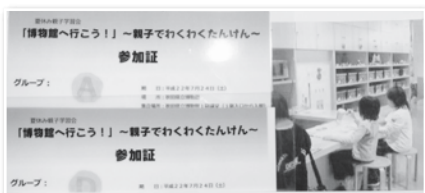
二月「教育懇談会」各市町教育委員会の方々を招き、グループ別情報交換を行った。来年の東北B大会のプレ分科会のごとくテーマ毎に分かれ、課題を共有することができた。また各校発行しているPTA会報の展示会を開催し、特徴あふれる紙面構成のみならず、各校で工夫されている研修・行事・協力体制などの内容を見て取ることができた。



●夏休み親子学習会「博物館へ行こう！」

当連合会文化研修部では、主たる事業として、親子で秋田の自然や歴史を学ぶことを主旨とする「夏休み親子学習会」を、毎年実施しています。今年度は、秋田県立博物館のご協力をいただき、「博物館へ行こう！」というテーマで、夏休み最初の土曜日（七月二四日）に開催しました。

当日は、九七組二百名を超える参加があり、グループに分かれ、「わくわくたんけん室」での手作り体験を軸に、常設展示、企画展を順次見学しました。短い時間でしたが、受動的に見学するだけでなく、工作や遊びを体験できる博物館の新しい魅力にふれることができました。



●教育環境の大切さを学ぶ

男鹿市

当会では、毎年会員の資質向上と交流を深めるため、市内四中学校区持ち回りで「研究会」を開催しています。

今年は「ふれあい夢そして未来へ」をテーマに緑と海の織り成す、大自然豊かな男鹿北中学校を会場に開催。はじめに沖縄県に人事相互交流で派遣された五城目小学校の小玉先生が基調講演を行い、教育環境がいかに子どもに与える影響が大きいのか、具体的事例を示しご報告いただき、全国学力テストの結果が示す学力の高さは、家庭、地域、学校における教育力が高度に融合された結果であることに確信をもつ事ができました。

その後グループ討論で、日頃抱えている課題・悩みなどを出し合い解決策を話し合いました。

日頃教育について学び、気軽に話し合える場がないため、とても有意義な研究大会となりました。



●PTA連合会研修会

「地域力・育力向上！みんなで考えるコミュニケーション講座」PTA・学校・地域・家庭それぞれが出来ることをテーマに、7月31日（土）潟上市昭和公民館で研修会を開催した。

当日は、PTA・地域の課題解決に役立つ参加型研修会として、袴田氏による講演と演習、連合P役員・各校会長等による地域が抱える問題を題材にした

潟上南秋

寸劇、6つのテーマについてのワールドカフェ形式での対話等を行った。PTAや地域活動におけるコミュニケーションの必要性を、改めて実感することができた。



●市P連教育懇談会

由利本荘

十二月四日(土)の市P連主催の教育懇談会では、長谷部誠由利本荘市長から、「由利本荘市の現状と課題」についてご講話をいただいた。参加者からは、施策や課題など具体的な内容でとても分かりやすく、今後の見通しも伝わってきた、行動する市長のお話を直接伺うことができてよかった、大変有意義であつたなど数多くの感想が寄せられた。その後、市教育委員会から要望書への回答、市内各地区PTAの特色を生かした研修活動等の情報交換を行った。平成二十三年度より統廃合する学校があり、当該校のPTAとしての動きについても報告があり、他地区にも有効な情報提供になった。



●家庭で活かせる学習会

せんぼく

せんぼくPTA連合会母親委員会では、7月に、かつの21プラン事務局長の田中喜昭氏を講師にお招きし「環境学習と石けん作り」を行い、11月には「豆乳で作るクリーミーパスタ」の調理講習会、環境カウンセラーの大塚幸絵氏によるエコライフ学習及び「泡立つ入浴剤作り」を実施しました。

参加者から、「自分が使っている洗濯洗剤が体にとっても悪いことにショックを受けました」「偏食の改善と食欲増進について実生活でできることを工夫したい」という声が聞かれました。



●江戸情緒あふれる講演会

にかほ

今年度の講演会は、講師として落語協会所属の音曲師、柳家紫文氏をお迎えし、いつもとは違う趣になりました。七月二日、仁賀保勤労青少年ホームで「大人の三味線文化講座」と題して行われた講演は、粋な三味線の音色に彩られながら、まさに寄席の雰囲気。氏の得意ネタ「鬼平市中見廻り日記」で、静かだった場内はいつの間にか笑いに包まれ、都々逸や三味線の分割の説明など、江戸情緒たっぷりで、かつ文化的な楽しい一時を過ごすことができました。



●郡・地区P合同研究集会開催

湯沢雄勝

当連合会では、今年度稲川地区PTA連絡協議会と合同で研究集会を開催しました。「子どもたちのためやる気 勇気 元気！」明日の子育ての糧に 心に響け! 日本の調べく」の研究主題のもと、約二百五十名の会員の皆様に参加していただきました。

当日はわらび座のパフォーマンスバンド「響」の皆さんの子育てトークとライブ演奏で大いに癒され、励まされました。多くの会員の皆さんと貴重な時間を共有し、「これまでの研究集会と一味違い新鮮だった。」「元気をもらった」といった感想をたくさんいただき、企画した甲斐があつたと役員一同喜びました。



●「食」への関心を高める研修会に

横手市

今年の定期研究大会は、「食育と基本的な生活習慣の確立」を研究テーマに研修内容を構成した。「現代の名工」に選出された山本省三氏を講師に初めて見る式包丁に驚嘆の声が上がり、講演で「食」の伝統文化や重要性がわかり、参加された会員の方と質疑応答し内容を深めることができました。また、学校栄養士が作成したご当地「食」クイズを行い増田町特産のリンゴを賞品にするなど会場は大いに盛り上がった。食育について認識できた研修会だった。約二百名の参加であつた。各小中学校のPTA役員方の呼びかけで無理なく参加目標人数を集めることができた。このことは、市内会員の研究集会に対する関心の高さを機会になった。

来年度は秋田県で東北ブロックPTA研究大会が開催される。横手市は「食」をテーマにした分科会が担当する。今年度の取り組みを修正しながら、来年度につなげる研究集会を考えていきたい。



平成23年度開催 研究大会のお知らせ

第59回日本PTA全国研究大会

きんさい!みんさい!やりんさい!

子どもたちの笑顔のために
平和な未来へ! 広島からの発信!

開催日 8月26日(金)~8月27日(土)

会場 広島県立総合体育館 (広島グリーンアリーナ) 他10会場

優良PTA文部科学大臣表彰

優良PTA文部科学大臣賞を受賞して

北秋田市立鷹巣小学校

PTA会長

岩谷

哲



この度、北秋田市立鷹巣小学校PTAが平成二十二年「優良PTA文部科学大臣賞」を受賞し、さる十一月二十六日、東京のホテルニューオータニに於いて、名誉ある賞を頂いて参りました。

当日は、文部科学大臣が出席の予定でしたが、国会会期中の為、笹木文部科学副大臣をはじめ、多数のご来賓が御臨席のもと、高い格式と厳肅な雰囲気の中、盛大に執り行われました。

全国から文部科学大臣表彰に一二八校のPTAが選ばれ、同時に行われた、日本PTA全国協議会長表彰を合わせますと五〇〇以上の団体、個人が壇上にあがり、ひとりひとり表彰状を頂いてまいりました。

本校の主なPTA活動は、学年部主体の親子レクリエーション、秋に行われる学習発表会（「鷹つ子祭り」といいます）の際の保護者による食堂・売店・バザーなどの企画運営・一日がかりで行う「PTAの集い」（授業参観や学年ごとの親子学習会・PTAレクリエーション開催・先生達との懇談会など）の開催、環境整備部によるアルミ缶回収や遊具のペンキ塗り、文化部によるPTA会報「こたか」の発行。校外指導部による毎月の登校指導など、特別目立った活動というのはありませんが、この度の受賞は、こうした活動が本校の長い歴史に於いて、歴代のPTA会長、校長先生方をはじめ、今までのPTA会員の皆様がPTA活



動に積極的に取り組んで頂き、長年にわたり継続されてきた事が評価された結果の受賞と思っており、大変有難く思っております。

今回、たまたま私がPTA会長ということでこのような貴重な経験をさせていただいたのも皆様のおかげと深い感謝の気持ちで一杯です。

今の子供たちは、これからの二十一世紀を背負っていく大きな使命をもっています。無限の可能性を持った子供たちが、未来に向かって大きく飛躍することができるよう、又、今日の子供たちの澄んだ瞳と明るい笑顔が消えることのないようにすることが私達大人の責任であると思います。その為に、学校と家庭がそれぞれ担っている役割を果たし、緊密に連携し協力しあっていくことがとても重要であり、その為に私どもPTAの役割があるのだと私

は考えております。

現在少子化に伴い、PTA会員の数も年々減少傾向になっており、今まで行ってきたPTA活動を維持していくこともこの先厳しくなっていくことが予想されます。みんなで知恵をだしながら、これからのPTA活動を考えたいかなければならない時期に來ているように思えます。

今回の受賞は本校のこれからのPTA活動にとっても大きい励みになったことと思います。

子供達の健全な発育を願い、鷹巣小学校PTAが、そして、鷹巣小学校が益々、充実発展することを切に望んでおります。

家庭・学校・地域 三位一体となつて

秋田市立山王中学校

PTA会長

安宅 信之



秋田市の中心部、官庁が建ち並ぶ山王大通より十数メートル入ったところに本校はある。一九五三年の創立で今年五十七年を迎え秋田市内でも最も長い歴史をもち、一九六二年には二、七六九名の生徒数であったとは（現在の約四倍）驚きだ。同窓生の数は二万五千人を超す伝統校である。

それだけに、今日まで多くの地域の方々に子どもたちが支えられていることは、いうまでもない。

部活動も活発で、中でも吹奏楽部は全国大会の常連校になっていることは、あまりにも有名である。大会の間をぬつては、招待演奏や地域行事に参加するなど引っぱりだこで、多くの地域の方々からも熱い声援が送られて



いて、県内外からわざわざ応援ツアーが出るほどの熱狂ぶりだ。一年後の招待演奏オフアームでもあるとか。

また、郷土芸能クラブは、地域の伝統行事である竿燈に昭和四十九年から三十五年以上にわたって参加し続けている。教職員、PTAでは、生徒への食事、交通指導など裏方で支援し伝統の継承に一躍を担っている。

ここで今年度の生徒会スローガンを是非紹介したい。

「ROCKS（ロックス）」

山王中のキーワードを、R⇨両立、O⇨思いやり、C⇨挑戦、K⇨向上心、S⇨責任の五つとし、それぞれそれぞれの頭文字をとりました。この五つキーワードでピラミッド⇨岩（ROCKS）をとらえ、これからの山王中の土台にしたいという想いをこめました。（生

徒総会資料より)

われわれ大人までもが、何ともいえぬ力が湧いてくる言葉である。PTAとしても、サポートせずにはいられない心境になるのは当然である。

学校、教育振興会、PTAが主体となって「山王中を元気にする会」が毎年五月恒例で行われる。地域をあげて子どもたちにエールを送る会であるが、子どもたちもお互いに健闘を誓い合い、奮起する会でもある。

また、秋田中央警察署からの呼びかけで今年七月「山王地区青少年健全育成実践モデル地区活動推進協議会」を発足した。モデル地区内の小・中学校教職員、PTA、市民憲章推進委員、少年保護育成委員で組織され少年非行の防止と健全育成を図るための総合的な対策を推進している。

先般、秋田県教育委員会「父親の参画による地域教育力活性化事業」の助成金制度が発令され、早速にPTAと学校側と検討し「ガム取り研究会」と銘打った文字通り吐き捨てられたガムを取り除く清掃活動を行う会を立ち上げた。父親が主体となって学区の清掃活動と市民への美化意識啓発を

推進すると共に、父親同士また、子どもたちと一緒に取り組む作業を通じてのコミュニケーションづくりが目的である。

十一月七日、二回目の作業は朝七時三十分から、気温十℃以下の寒い日にもかかわらず、生徒、保護者合わせて約三十人の参加であった。山王大通りの歩道、約二〇〇mをコテやブラシを使い踏み固められて黒ずんだガムを除去。その光景は、何とも微笑ましいものであった。今後一人でも多くの方々に参加して頂き、定期的な活動として取り組んでいきたい。大人として、保護者として今出来る事。

「地上の星」愛してやまない子どもたちのために。PTA活動は、決して怯むことはない。



平成23年度(社)日本PTA全国協議会

第43回 東北ブロック研究大会 秋田大会

期 日 平成23年 9月17日(土) / 18日(日)

日 程

■ 大会1日目 9月17日(土) 会場：6分科会 会場

10:00	11:30	13:00	16:30
運営打合せ会	受 付	分 科 会	

■ 大会2日目 9月18日(日) 会場：秋田市文化会館

8:50	9:20	10:30	10:45	11:10	12:30	12:45
受 付	開会行事・表彰式	休 憩	アトラクション	記念講演	次期開催地挨拶	

記念講演講師

春 や す こ 氏

1961年(昭和36年)6月15日生まれ。大阪府出身。
1976年漫才コンビ「春やすこ・けいこ」結成。1990年に結婚、1991年に長女誕生。
その翌年には長男誕生。出産を機に仕事を縮小し、育児に専念。長女の幼稚園年長から現在まで15年間PTA役員を務める。



分科会		会 場	研究内容	討議の視点
		参加者数		
第1	組織運営	二ツ井公民館 300	子どもを取り巻く課題解決に対応する組織運営	① PTA活動の現状 ② 実行力あるPTA活動
第2	研修活動	本荘アクアパル 300	情報化社会に対応するPTA研修	① 子どもを取り巻く情報化社会の現状 ② 情報化社会に対応するPTA研修の在り方
第3	健全育成	八郎潟農村環境改善センター 300	地域と連携する子どもの安全・安心	① 子どもたちが地域と関わり、郷土愛や夢・希望を育めるコミュニティの形成 ② コミュニケーションを重視した安心の地域づくり
第4	家庭と小学校教育	協和わびあ 300	家庭と小学校教育	① 心豊かでたくましい子どもを育てるための家庭、地域、学校の役割と連携 ② 子どもたちの学びを支える家庭、地域の在り方
第5	家庭と中学校教育	湯沢雄勝広域交流センター 300	家庭・地域と中学校教育	① 中学生の現状について ② 家庭・学校・地域との連携
第6	健康安全教育	横手市民会館 500	食育と基本的な生活習慣の確立	① 親と子の絆を深める家庭での食事 ② 食を通して育てる人間性豊かな子どもたち

加入のお願い

秋田県PTA安全互助会では、児童・生徒・PTAに対する総合補償制度への加入促進に取り組んでおります。

平成二十三年年度の「加入のご案内」について、三月中旬に各単位PTAあてにお送りいたします。安全互助会の趣旨をご理解いただき、特に未加入校におかれましては、役員会等でご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。

〔平成二十三年年度の予定〕

- 五月二十八日(土)
新旧郡市P連会長会議
- 六月四日(土)
県P連・安全互助会定期総会
- 七月二日(土)
東北ブロック研究大会
秋田大会分科会
事前打ち合わせ会議
- 八月二十六日(金)～二十七日(土)
日P全国研究大会
ひろしま大会
- 九月十七日(土)～十八日(日)
日P東北ブロック研究大会
秋田大会

編集後記

本年度も子どもたちの学力、体力が全国のトップクラスというニュースに、元気をもらって終わろうとしています。

会員の皆様には、本連合会・安全互助会の諸事業にご理解、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

新年度、九月にはいよいよ「東北ブロック研究大会秋田大会」が開催されます。全県PTA会員の総力を結集して、秋田の力を示したいものです。

子どもたちは、入学、進級、卒業、進学とそれぞれの旅立ちの季節です。子どもたちのために、いまできることを親として、PTAとして学校で、地域で、家庭で始めましょう。

花々や樹々の芽吹きに、新しい何かが始まる予感がしませんか。(N)

秋田県PTA安全互助会から 保護者の皆さんへ

事故発生から保険金請求までの手順の一部が変わります

事故発生

保護者から

↓
学校の担任又は担当の先生に連絡
↓
学校から関係書類一式をもらいます
↓
事故発生通知書を作成し学校に提出
↓
学校から通知書を安全互助会に送付

その後の流れ

(ケガの完治後、事故の解決後)

22年度まで

請求書類を学校に提出
↓
学校から安全互助会に送付

23年度以降

請求書類に学校から証明職印をもらいます
↓
保護者から保険会社へ送付します(専用封筒で切手不要)
↓
保険金が指定口座に振り込まれます
↓
保険会社から支払い手続き終了が通知されます

大人の休日倶楽部

大人の休日倶楽部会員バスをお求め・ご利用になるにはこちらへの入会が必要です
くわしくは、お近くの駅びゅうプラザの入会申込書をご覧ください。

募集中!

「大人の休日倶楽部」ホームページ

www.jreast.co.jp/otona

満50歳以上のあなたに **初年度年会費(2,500円)無料!**

大人の休日倶楽部ミドル

JR東日本線・JR北海道線のきっぷが
5%割引で何回でもご利用いただけます。

※一部割引にならない商品・列車・設備・期間などがございます。
※「大人の休日倶楽部ミドルカード」(クレジットカード)でのお支払いに限ります。

入会条件 男性満50歳以上64歳、女性満50歳以上59歳までの方

年会費 2,500円(カード年会費500円含む・消費税込み)

男性満65歳以上、女性満60歳以上のあなたに

大人の休日倶楽部ジパング

JR東日本線・JR北海道線のきっぷが
30%割引で何回でもご利用いただけます。

※一部割引にならない商品・列車・設備・期間などがございます。
※「大人の休日倶楽部ジパングカード」(クレジットカード)でのお支払いに限ります。

入会条件 男性満65歳以上、女性満60歳以上の方
(ご夫婦の場合、どちらかが満65歳以上なら、お二人そろってお申し込みいただけます)

年会費 個人会員4,170円(カード年会費500円含む・消費税込み)
夫婦会員7,120円(カード年会費1,000円含む・消費税込み)



お客さまひとりひとりと、
顔の見えるおつきあい。

日新火災は、
ひとりひとりのお客さまと
しっかり向きあう
「顔の見えるおつきあい」で、
お客さまのご期待に
お応えしたいと考えています。

お客さまに最も身近で誠実な損保を目指して

秋田県PTA安全互助会補償制度取扱会社

日新火災海上保険株式会社

秋田支店 〒010-0001 秋田市中通4-5-2 TEL.018-837-5255